

[概要]

カリキュラムマップは、ディプロマポリシーと各授業科目との対応を明示することで、修了までに身につけるべき各能力を涵養するためにそれぞれの授業科目が果たす役割を示している。

科目区分	研究領域	課程の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)							科目等
		成城大学大学院				経済学研究科/経済学専攻			
		(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(dp1)	(dp2)	(dp3)	
授業科目	経済学研究科 共通	◎	○	○		○	○	○	税法研究 A 税法研究 B 統計解析 A 統計解析 B グローバル・スタディーズA グローバル・スタディーズB
	授業科目 (専門科目)								
	経済理論	○	○	○		○	○	○	経済理論研究 I A 経済理論研究 I B 経済理論研究 II A 経済理論研究 II B 産業経済学研究 A 産業経済学研究 B 経済学史研究 A 経済学史研究 B 統計学研究 A 統計学研究 B
	応用経済	○	○	○		○	○	○	国際経済学研究 A 国際経済学研究 B 経済政策研究 A 経済政策研究 B 交通政策研究 A 交通政策研究 B 経済地理学研究 A 経済地理学研究 B 医療経済論研究 A 医療経済論研究 B 財政学研究 I A 財政学研究 I B 財政学研究 II A 財政学研究 II B 金融論研究 A 金融論研究 B 国際金融論研究 A 国際金融論研究 B 農業経済学研究 A 農業経済学研究 B 開発経済学研究 A 開発経済学研究 B 都市経済学研究 A 都市経済学研究 B
	経済史	○	○	○		○	○	○	経済史総論研究 A 経済史総論研究 B アメリカ経済史研究 A アメリカ経済史研究 B 日本経済史研究 A 日本経済史研究 B ヨーロッパ経済史研究 A ヨーロッパ経済史研究 B 東洋経済史研究 A 東洋経済史研究 B 経済思想史研究 A 経済思想史研究 B
	社会政策	○	○	○		○	○	○	社会思想史研究 A 社会思想史研究 B 社会政策研究 A 社会政策研究 B 人口理論研究 A 人口理論研究 B 社会保障論研究 A 社会保障論研究 B 労使関係論研究 A 労使関係論研究 B
研究指導	経済理論	○	○	◎	○	○	○	○	経済理論演習 I A 経済理論演習 I B 経済理論演習 II A

科目区分	研究領域	課程の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)							科目等
		成城大学大学院				経済学研究科/経済学専攻			
		(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	(dp1)	(dp2)	(dp3)	
		○	○	◎	○	○	○	○	経済理論演習 II B 産業経済学演習A 産業経済学演習B 経済学史演習A 経済学史演習B 統計学演習A 統計学演習B
	応用経済	○	○	◎	○	○	○	○	国際経済学演習A 国際経済学演習B 経済政策演習A 経済政策演習B 医療経済論演習A 医療経済論演習B 財政学演習 I A 財政学演習 I B 財政学演習 II A 財政学演習 II B 金融論演習A 金融論演習B 農業経済学演習A 農業経済学演習B 開発経済学演習A 開発経済学演習B 都市経済学演習A 都市経済学演習B
	経済史	○	○	◎	○	○	○	○	日本経済史演習A 日本経済史演習B ヨーロッパ経済史演習A ヨーロッパ経済史演習B 東洋経済史演習A 東洋経済史演習B 経済思想史演習A 経済思想史演習B
	社会政策	○	○	◎	○	○	○	○	社会思想史演習A 社会思想史演習B 社会政策演習A 社会政策演習B 社会保障論演習A 社会保障論演習B 労使関係論演習A 労使関係論演習B

論文 (または課題研究) ・最終試験	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	修士論文 (または課題研究) ・最終試験
--------------------	---	---	---	---	---	---	---	----------------------

成城大学大学院のDP

(DP1) 専門分野と関連分野に関する、高度な専門知識を有していること。(知識)
(DP2) 専門分野のなかから自らの研究課題を発見し、計画的、継続的、系統的に探究できる能力を身に付けていること。(思考力・判断力)
(DP3) 専門分野の基本文献と関連文献を正確に理解することができ、自らの考えを論理的で説得力のある表現で展開できる能力を有していること。(技能・表現力)
(DP4) 人間や社会の諸問題に関心をもち、他の人々と共に考え、自らの視野を広げる意欲を有していること。(主体性・多様性・協働性)

経済学研究科のdp

(dp1) 問題を発見し、探究するために必要な経済学の専門知識を身につけていること。
(dp2) 資料収集能力、プレゼンテーション能力、さらに幅広い柔軟な視点に立ったコミュニケーション能力を有していること。
(dp3) 論文の形式および内容(論文構成・文献の網羅性・論理性)が整った修士論文、あるいは特定の課題における調査・分析・レビュー・実務的な問題解決などについて研究した成果をまとめた課題研究報告を作成する能力を有していること。

特に対応している：◎

対応している：○